

令和6年度 文化祭 「みどころ新聞」

小学部 劇「泣いた赤鬼～同じ光を見上げて～」

今年は童話「泣いた赤鬼」をもとにした劇に挑戦します。

5・6年生が赤鬼、青鬼を、1年生から4年生が村人演じます。力強い迫力のある鬼の演技と様々な場面で見せる村人の表情にも注目です。赤鬼たちの願いは、そして赤鬼と青鬼の友情はどうなるのか。

小学部オリジナルの結末もお楽しみください。



小学部 手話歌「ビリーブ」「ツバメ」

今年は「ビリーブ」と「ツバメ」の2曲を発表します。「ビリーブ」は小学校の5年生の教科書に載っている曲です。「ツバメ」はNHKでよく流れている曲なので知っている人も多いと思います。どちらも「人が人を支える」「人と自然と共に生きる」大切さを歌った曲です。心を込めて歌います。子どもたちの表情にも注目してご覧ください。

幼稚部 劇「きんの がちょう」

木こりが小人たちから金のガチョウをもらいます。金のガチョウをさわった人はくっついてしまい、助けようとした人たちもどんどんくっつき、行列になってしまいます。行列になっていく街の人たちのかわいいダンスと、長い曲の手話歌に挑戦する姿をぜひご覧ください。

高等部 ダンス

今年度のテーマは「青春は今しか味わえない～青春謳歌～」学生といえば青春。

学生ならではの青春を謳歌している高等部ダンスチーム。

8名のダンスで皆さんに青春をお裾分けしたいと思います。

それでは、青春感満載のダンスをお楽しみください。



中学部 劇 「チェンジ・ザ・ストーリー

～座敷ワラシの世界へようこそ～

未来……。幸せな未来をみんな望んでいる。でも望んでいるだけでいいのかな。

みなさんはどうですか？幸せじゃなかったら未来なんていない？

この劇では座敷ワラシの世界を舞台にみんなで悩み、もがきながら未来について考えています。座敷ワラシダンスも見どころですよ。

高等部 和太鼓

高等部の和太鼓です。「木やり」「響心（ひびき）」の2曲を発表します。高等部生徒の迫力のある、またチームワークのとれた演奏をご覧ください。

「木やり」

これは木を切り倒す時に歌われる歌と共に、のこぎりを引く低い姿勢をイメージし、腰を低くして叩く力強い有名な太鼓です。その力強い響きを皆さんに感じて頂ければと思います。

「響心（ひびき）」

この曲は、平成10年度本校専攻科卒業の先輩が詠んだ和歌、「聞こえない 我らがたたく 和太鼓の ひびく鼓の音 伝わる心」を基に、本校に和太鼓の指導に来て頂いている「一擲」の方が作曲された曲です。

和歌の心を太鼓でしっかりと表現したいと思います。

